

チクリンカ

Alpinia nigra
ショウガ科



本種を市販されている少し古い書籍などで調べると小笠原固有種で、学名*Alpinia bilamellata*となっており絶滅危惧種に指定されています。ただし近年、調査研究から中国雲南省南部からインド・スリランカにかけて連続分布している*Alpinia nigra*であることが判明しました。果実・種子の形態から小笠原へは人の手によって持ち込まれた植物ということになります。小笠原諸島開発の歴史を顧みれば、1830年に欧米人とハワイ人が現在の

父島へ入植し、この後も各国の船舶は、水や食料を確保したり病人を下船させるなど、さまざまな目的で頻繁に小笠原諸島に寄港しています。ショウガ科植物は香辛料、薬用植物など多くの有用植物が含まれるグループです。では、移入種チクリンカはなぜ小笠原に持ち込まれたのか。多くのショウガ科植物のように有用性があったのか、現在のところその点は不明です。

(東京農大農学部植物園 伊藤 健)

新・実学ジャーナル

2012年11月号 No.95

2012年11月1日発行

編集・発行 学校法人東京農業大学広報部
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1
TEL. 03-5477-2300 FAX. 03-5477-2643
<http://www.nodai.ac.jp/hojin/>

定期購読ご希望の方は上記までご連絡ください。

2012 東京農大創立121年

学校法人 **東京農業大学**

東京農業大学 東京情報大学 東京農業大学短期大学部
東京農業大学第一高等学校 東京農業大学第二高等学校
東京農業大学第三高等学校 東京農業大学第一高等学校中等部
東京農業大学第三高等学校附属中学校